

『EuroShop 2017 Report-2』



『代理自我』

人が楽しんでいる姿を見せる事で、その場が素敵だと思わせる仕掛け
美しい海底映像の中に、突然切り抜かれたガラス張りの商談スペース
思わず、楽しそうなその中に誘われ入ってみたいくなる心理は私だけ？
大画面での迫力に人垣ができ、まさに人が人を呼びこむマジック！



『動くとは』

動く。まるで生きているかのように動く。
それは商品リアリティの為に。動かない商品は、写真と同じ
思わず触れたいくなるように。思わずまといたいくなるように。
デジタルサイネージとは違うよ！って、叫んでる。



『飛び出す幾何学模様』

床を構成するバラバラのグリッドが飛び出し広がっている
パターン化した既成概念を払拭するかのよう魅せている



『拡散した光』

幾何学模様の骨組み環境から、飛び出したグリッドが面照明となって輝きを放っている。
このように一つのモチーフが、連続性を伴って拡散或いは変身していく様が多くみられた



『ひとつの無限』

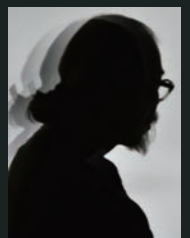
ガラススクリーンの模様は、六角形が一つの基本形で
少しずつ違うものを組み合わせることで変化をつけている。
QRコードや指紋のように、同じようだけどすべてが微妙に違う。小さなこだわりは、大きな∞をつむぐ。



『パールマネキンブース/KALEIDOSCOPE (万華鏡)』

万華鏡の模様は、常に変化し続けていきます。同じ模様が現れることは二度となく、それはまるで、自然界の神秘のように革新的であり、人を魅了してやみません。私たちは、このユーロショップを通して、旬な時を映し出す万華鏡のように、変わりゆくパールマネキンの今をご提案しました。

新作商品であるマネキンたちを、幾何学模様を立体化した環境什器群で構成し、棚・テーブルと共に、万華鏡の中の各チップのように散りばめています。
また、オリジナル曲にあわせて制作した万華鏡映像をデジタルサイネージ化したマネキンフェイスと、空中へと拡散した幾何学パネルへの映し込みで、変化し続ける模様の動きと連動させながら表現しています。


 reporter
I W A I